

令和6年4月1日

令和6年(2024年)度

学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園 経営計画
The Management Policy of TAGARA Kindergarten 2024

学校法人練馬みどり学園
田柄幼稚園 園長 古閑 博美

はじめに

令和6年(2024年)元日は能登半島地震、翌2日は羽田空港滑走路上で航空機事故発生にみるように、令和6年は多難な年明けとなりました。

世界に目を転じると、各地で戦争が勃発し、今も和平にたどり着く目途が立っていません。経済や情報分野等における競争が激しく、こちらも生き残りをかけた戦争と言ってよいのかもしれない。地震や異常気象などによる自然災害のほか環境破壊が進み、加えて少子化に歯止めをかけるのが困難な状況です。

このような時代に幼児教育、幼稚園教育はどのような取り組みを現場で実践していけばよいのかまたできるのかは課題です。

本園は、人間や社会不信に陥ることなく平和で安定した生活を送る意義を理解し、それに向かって努力しようとする子どもたちの育成に注力し、達成に資する全身教育ⁱを推進してまいります。堅実な経営を目指し、今年度も職員一丸となって教育の質の向上に取り組めます。文中敬称略。一部西暦のみ。

1. 方針

(1) 田柄幼稚園憲章、経営理念、教育理念

「田柄幼稚園憲章」ⁱⁱのもと、幼児教育

機関に必要でかつ十分な教育と保育に取り組みます。新たに策定した経営理念「社会の宝である子どもの教育と成長課題に真摯に取り組む」ⁱⁱⁱを職員と共有し、経営環境を整えていきます。

今年度も、本園の教育理念「子どもは何ものにもかえがたい宝である」(創立者 吉田富五郎)を肝に銘じ、全身教育を通じて園児たちに「いのち(生命力)・こころ(心力)・からだ(体力)」の大切さを伝え、「4つの自(自発、自立、自律、自尊)を促し、教育目標「ただしい子、うつくしい子、つよい子、あかるい子」の育成に努めます。

本園は、練馬区立田柄小学校に隣接する地理的条件を生かし、学園地域にある幼稚園として成長を目指します。田柄小学校と本園とは、「なかよし門」を介して災害時の避難訓練や避難場所としてつながっています。「なかよし門」からは、愛宕神社に通じる通路もあり、避難経路のほか教育や保育の時間に利用します。

(2) 園内整備

園庭整備としてASOBIO(株式会社スマートエデュケーション)を導入することを決定し、令和5年(2023)第2学期に第1期工事に取掛かりました。地球温暖化は地球沸騰化の言葉にとって代われようとしています。熱中症対策などを踏まえた植

栽計画を進め、自然木を用いた遊具のある園庭に生まれ変わります。

2024年度は、主として植栽と第1期設置環境や遊具等の使用の仕方や、遊び方の経過観察ほか、継続して園庭整備等を行います。ツリーハウスの設置を予定していません。何事も安全第一に進めてまいりますのでご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。地域に根差した幼稚園^Ⅳとしてよりよい教育環境を創造すべく取り組むものです。植樹等により年々園庭の環境が変化していくさまにご期待ください。

(3) 感染症拡大防止と保護者支援

2023年4月1日以降、教育機関におけるマスク着用は「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」^Ⅴことが示されました。

本園は行政の指針を踏まえつつ、幼児教育機関として健康と安全を重視し、感染症流行等に備えて実情に即して園内でのマスク着用を徹底します。

本園職員と利用者の皆様は、通年で体調管理に努め、体調に不安等がある場合、登園は控えるとしています。職員は検温および健康管理は通年で必須とし、園児、利用者の方にも協力をお願いします。

また、例年、12月～翌年1月はインフルエンザ等の感染予防のため、職員はマスク着用月間としています。感染症罹患予防や防止のため、通年で各種伝染病の感染拡大防止に努めます。

就業他社会活動に従事する保護者は増加傾向をたどり、預かり保育への期待が高まるなか、支援体制(定員62名)を整えております。お子様の安全管理上、本園の利用規約を順守してください。

2. クラス編成と体制

今年度は以下のとおり、在籍園児数が確定しました(4月1日付)。○は学年主任。

① 満3歳児学年(定員1クラス25名)

1クラス(いちご組)合計24名
チーム担任制(担任2名(内1名○)
+学級経営補助)

② 3歳児学年(定員1クラス29名)

2クラス(ばら組28名、○ひまわり組29名)合計57名

チーム担任制(担任1名+学級経営補助)

③ 4歳児学年(定員1クラス35人)

3クラス(パンダ組22名、○キリン組23名、コアラ組23名)合計68名

④ 5歳児学年(定員1クラス35人)

3クラス(つき組25名、○ほし組25名、そら組25名)合計75名

総計224名(男児110名、女児114名)。

4歳児・5歳児学年にも必要に応じて学級経営補助が入ります。中途退園・入園により園児数に加減有。

通常教育は、満3歳児学年「プレ初年期教育」、3歳児学年「初年期教育」、4歳児学年「中間期教育」、5歳児学年「幼小接続期教育」に位置付けております。

(1) クラスと特別教室のアプローチ

通常教育は一人ひとりの個性や特性を踏まえた教育を、預かり保育では家庭的で安心安全な保育に教育的観点を導入し、それぞれさまさまなアプローチ(教授法)を駆使して取り組みます。

正課カリキュラムは「英語」「論語」「体育」(2018年度導入順)を全学年で実施します。正課及び学年毎のシラバス(年間教

育計画)をホームページに掲載しています。学事日程を踏まえて担任は週案を作成し、日々微調整しながら人工的産物と自然的産物を適宜取り入れ、教育目標の達成を目指します。

にこにこ教室ときらきら教室は、預かり保育主任が全体を統率します。正規・非正規職員が手厚い体制で取り組みます。

わくわく教室とすくすく教室は、未就園児担当主任が運営計画を作成し、運営に当たります。

以上のとおり、園児の教育と保育を担う体制が整い、新年度がスタートしました。陣容は、正規職員21名、非正規職員14名、園医2名、薬剤師1名、派遣(安全サポーター)1名、非常勤講師7名、顧問1名、教育支援委員10名、カウンセラー1名。正規職員以外常勤ではありません。

(2) 特別教室と課外教室

本園は4学年のクラス運営のほか特別教室(わくわく・すくすく教室[2歳児枠。プレ初年期教育に準じる]、不定期に開催するトコトコたがらん広場[1歳児~2歳児枠]、にこにこ教室[練馬子ども園。預かり保育<短期・長期>]、きらきら教室[延長保育]、しるでき^{®vi}[5歳児学年希望者対象]、しるでき+[®][修了児と他園卒園児対象])を運営し、課外教室として外部の5団体を受け入れています。

わくわく教室とすくすく教室は幼稚園に親しむ目的で設置しており、子どもたちが集団社会生活を体験する機会としています。後期は親子分離のプログラムを実施します。

トコトコたがらん広場は、早期教育や幼稚園教育に関心のある保護者や、同年齢の子どもどうしの交友を広げたい保護者の皆

様にご案内しています。事前の申し込みは不要です。直接本園にお越しください。

因みに、文部科学省管轄の幼稚園は子どもが通う初めての学校に位置づけられます。

2024年度に本園と契約を交わした団体(課外教室。代表)は以下のとおりです。順不同。

- ① らくがきっ子体操クラブ 佐藤 弘道
- ② 田柄バレエ教室 松本 美代子
- ③ ECC 英語教室 ECC 幼児教室推進課
- ④ 西武囲碁教室 浅野 康人
- ⑤ 英語でリトミック 佐藤 久子
- ⑥ その他

体験講座をご案内することがあります。

例

- ・茶道体験講座(茶道裏千家教授) 深沢 宗建
- ・たがらん[®]子ども俳句道場 指導 菊地 悠太(「河」同人/選者)・古閑 裕海(104句会主宰。「かいぶつ」同人。「氷室俳句会」会員) など

3. 教育環境

(1) 健康・安全

園児の健康と安全は最重要課題の一つです。感染症対策として、来園される方は健康確認(検温ほか)と、状況に応じてマスク着用(乳幼児は任意)をお願いします。

1) 感染症予防とマスク着用

マスク着用等は文部科学省、厚生労働省、世界保健機構(World Health Organization: WHO)、東京都、練馬区などの指針や指導を基に本園の運用規定を策定しております。

今後も、各種感染症の予防と拡大防止のため、職員は健康確認(通年)および必要

や状況に応じてマスク着用を義務付けます。園児のマスク着用は任意です。

来園者は本園の経営環境の保全にご協力ください。本園利用規約に示した事柄等に協力が得られない場合、ご利用をお断りすることがあります。

2)健康管理

長引くコロナ禍では幼児期に必要なして十分な顔認識行動の習慣や、コミュニケーション能力開発と訓練の機会が削がれ、人にとって不可欠な人間関係構築力が減じるのではとの懸念がありました。新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行(令和5年5月8日)しましたが、他の感染症とともにこれまで同様注意してまいります。

保護者の皆さまには、季節によって流行する感染症や季節等を問わない感染症に園児たちが翻弄されないように、体調の変化に気づいたときには欠席や受診など早めの対応をお願いいたします。

また、基礎体力をつける点から「早寝早起き三食運動」を習慣づけていただければと存じます。

本園は、毎日出欠記録をとっています。感染症罹患患者数の報告に基づく感染状況や園児等の体調等により学級・学年閉鎖や、休園を視野に入れて対応します。但し、預かり保育は罹患していない園児に限ってお預かりを継続します。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、行動規制やマスク着用への要請は緩和されましたが、本園は状況に応じて対応してまいります。

園児の健やかな成長を願い、保護者との意思疎通を十分に行うとともに行政機関等関係各所との連携を図ります。本園利用者

と職員の健康に配慮し、安心安全な環境で過ごせるように努めます。

(2)園児尊重の教育と保育

本園は、教育理念を具現すべく全身教育を推進し、「いのち(生命力)」「こころ(心力)」「からだ(体力)」の大切さを伝える教育に取り組んでいます。

土台となる七育(徳育、知育、体育、技育、美育、食育、遊育^{vii})に、正課科目(英語、論語、体育)をはじめ発達過程に応じたカリキュラムの充実に一層努めてまいります。

1)4つの自「自発、自立、自律、自尊」

幼稚園は社会の縮図であり、多様性の集合体として多様化する価値観に直面する場所となりつつあります。本園はジェンダーに配慮し、誰にとっても心地よい空間の構築を目指します。幼児らの「ひと」たる成長を支援するうえで「自発、自立、自律、自尊」の芽をはぐくむことは、将来、独立したひとりの人間として社会で生き抜く力の獲得を視野に入れてのことです。

それにはまず、私たち大人の内なる偏見の存在に気づくことや、これまで蓄積してきた学修知の見直しが必須です。これは、保護者や関係各位各所の協力と理解に負うところ大です。

2)家庭と幼稚園とで共有したいこと

子どもたちの心身の健やかな成長のために、家庭でも幼稚園でも①挨拶励行、②衛生的で安全安心な環境構築と保持、③清潔な衣服の着用、④1日三食摂取。暴飲暴食や偏食防止、⑤十分な休養と睡眠、⑥よい言葉遣いや振る舞いの励行、⑦親子のスキンシップや他人との良好なコミュニケーション、⑧外気に触れ、適度な運動、⑨美的

で創造的なものやことに触れる機会増、⑩季節の移ろいや変化に気づく感性を養うことが肝要です。褒め言葉は場面に応じて適切に用いましょう。

すると、おのずと幼児の心身が安定してき、幸福感を持って成長することが見込めます。こうしたウェルビーイング(幸福、健康)の実現には家庭と幼児教育機関との共通認識や協力が重要です。

3) 環境と教育

「三つ子の魂百まで」は幼児期に目にし、耳にし、口にし、手にしたものは経験値としてその子の一生に知らず識らず影響を与えているのであり、人格形成に深くかかわっていることをいう諺です。幼児教育の重要性にかかわる諺として知られ、乳幼児期の環境や社会との触れ合い、教育や体験の重要性を示しています。そこに、親子関係や、子を取り巻く社会など、広く環境がかかわっています。

ひとの成長にとって「ひと・もの・こと・ほん・しぜん」との出会いやかかわりが不可欠です。日常にさまざまな経験が待ち受けているなか、乳幼児期は人生の初期の重要な人格形成期に位置づけられます。生活者に必要な社会性や行動の仕方などを身につけるほか、性格形成のうえからも大事な時期です。性格形成には「行動と考え方のパターン」が影響しているといえます。幼年期こそ老年期に至る道程に備えるべきなのです。そこに愛と信頼関係は必須です。

4) 人の原点にある温かいもの

ひとの原体験に、温かい乳房に触れ温かい母乳を口に含んだ体験があります。誰でも、温かい言葉や態度で接してもらいたいと望むことは温かいものに触れ、提供さ

れた原体験からして当然のことなのです。逆に、そうした体験が奪われるようなことがあるとしたら、成長過程での損失や打撃は計り知れないものがあるといえます。

乳幼児期は、愛され抱きしめてくれる人間関係や経験が最も豊かに提供される時期に重なります。子どもが社会の「宝」として育つためにも、人生の初期に無条件かつ無償の愛があることこそが生涯の支えとなるのではないのでしょうか。

本園の教育理念である「子どもは何ものにもかえがたい宝である」を具現すべく、教職員は園児一人ひとりの個性を見極め尊重し、教育の質の向上に励み、成長にふさわしい教育活動に取り組みます。挨拶励行は本園のよき伝統です。保護者や、地域の方々に支えられていることに感謝し、本園の教育と運営に理解と協力を得るための努力を惜しみません。

(2) 教職員の育成と支援

職員のキャリアアップとスキルアップを奨励し、研究を教育現場で実践する職員、そして現場の課題を研究し試行錯誤する職員を支援^{viii}しています。2021年度～2022年度にかけて4人の教諭が幼稚園教諭一種免許を取得し、2023年度は1名が取得しました。

本園は、園児の教育や保育にあたるうえでエビデンス^{ix}を重視しています。職務は以下のことがらに留意し、漏れのないように細心の注意を払って取り組みます。

- ⑦ 5W1H「Where, What, When, Who, Why, How」(キップリング^xの詩の表現順)の徹底
- ⑧ 「ホウレンソウデンセツカク(報告連絡相談伝達説明確認)」(古閑博美)の

徹底

⑨ 5S (Seiri, Seiton, Seisou, Seiketsu, Shituke) の徹底

⑩ 研究会^{xi}や研修会への積極的な参加などです。

職員の研修機会は正規・非正規を問わず研鑽の機会として設置しています。

また、幼児教育界にふさわしい人材育成の観点から、教育実習生や研修生を積極的に受け入れています^{xii}。

(3) 顧問、教育支援委員、カウンセラー、園医、薬剤師、弁護士

本園は、理事会、顧問1名、教育支援委員10名、カウンセラー1名、園医2名、薬剤師1名、弁護士(事務所)1名、会計事務所を擁しています。教育支援委員10名は男女各5名からなり、各専門領域の観点から園児観察とカンファレンス、研修や保護者のための学修講座の講師として登壇してもらいます。

本稿では教育支援委員のひとりである広島大学大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム准教授の奥村安寿子委員(博士)をご紹介します。同委員とは幼児教育に資する研究を推進するほか教育面で支援を得ています。それらは、①4歳児学年の園児を対象にした「ことばの調査」実施、②全学年対象の園児観察と必要なカンファレンス、③特別教室・5歳児学年園児希望者対象「しるでき[®]」学修支援などであり、保護者の子育て相談などです。

カウンセラーは企業でのカウンセリング経験が豊富であり、職員は第1学期に面接必須とし、その後は希望に応じて申し込む制度を設けています。主として職員のメンタル面での健康管理の一助とし、保護者に

は無料相談の場として提供しています。こちらは、本園は関与しません。連絡先は次のとおりです。「田柄幼稚園相談(カウンセリング) soudan@nmg.ed.jp」。秘密厳守。

園児の健康診断は園医(内科医、歯科医)が担当し、薬剤師は薬品類について助言します。毎年度、園医によるエピペン講習と顧問弁護士による就業規則や情報管理、ハラスメント等の研修を実施しています。

(4) 地域連携—地域に溶け込み愛される幼稚園—

地域の方々とともに田柄幼稚園ならではの行事や奉仕活動を企画し、実現しております。以下に主な活動を6件紹介します。

1) 地域への奉仕

地域への奉仕として愛宕神社で清掃活動を行います。園児は神社の境内で遊び、持ち帰ったドングリや木の葉は教育時間の制作等に活用しています。保護者の自転車置き場としても利用させていただいております。落葉の季節には落葉を清掃し、夏は地域の祭りを楽しむ園児と保護者の姿があります。

2) 収穫体験

園児等は、毎年、吉田茂雄教育支援委員の農園(エコファームヨシダ)で収穫体験を行うほか、吉田委員と本園理事会メンバー吉田聡理事(すずしろ農園)の協力を得て「トコトコたがらん[®]市場」(2022年5月20日開設。不定期)に野菜を提供してもらい本園関係者に販売します。新鮮な季節の野菜はひとの健康を支えるだけでなく味覚の発達にも影響するものです。運営はボランティアベースで主に修了園児の保護者が担い、職員のほか場合により在園児の保護者が手伝います。運営に関心のある方はお申し出ください。

3) 教養文化講座

本園は2018年度より「教養文化講座」を企画し、運営しております。それらは以下の通りです。

- ① 国立劇場は建て替えの為、別の会場での歌舞伎・文楽鑑賞教室の観劇をご案内します。我が国の演劇や劇場文化に触れる機会としています(希望者)。
- ② 本園に噺家 柳亭小燕枝師匠を迎えて子ども落語会を学年ごとに開催します。落語の話芸や所作を通して芸能やコミュニケーションの学修機会としています。園児たちが笑いのツボを押さえて聞く姿は最高です。

その他、適宜開催します。

4) 近隣社会との交流

近隣の株式会社クラーチ「クラーチ・ファミリー光が丘公園」の利用者の方々と交流し、コロナ禍のなかでもビデオメッセージを送ったり、季節ごとにプレゼント交換をしたりしてきました。2024年3月21日には、にこにこ教室利用園児(修了児)が就学前に訪問し、歌や園長考案の「あいあい体操」を一緒に楽しみ、肩たたきのプレゼントをして交流しました。

今後、直接交流する機会を増やしていく予定です。

5) 飼育と栽培

修了児や在園児の保護者からカブトムシや金魚、球根などの寄付があり、植物や小動物の成長観察や飼育に取り組んでいます。

6) えほん食堂(子ども食堂)

2022年10月26日、田柄二丁目にこども食堂「えほん食堂」(代表 吉田愛子)がオープンしました。協力 立教大学法学部薬師丸ゼミナール。田柄幼稚園後援。利用は、

本園利用者を対象に月2回程度開催。

えほん食堂は食育活動のみならず読書空間として最適な場所でしたが、今年度は、代表の都合で活動中止となりました。これまでのご利用に感謝申し上げます。

(5) 自己評価・学校関係者評価委員会

毎年、職員にアンケート調査を実施し、集計結果は職員研修の場でフィードバックしています。園長は総括し、現状を職員と共有するとともに次年度に向けて各自で課題を確認しています。

職員研修翌日の3月14日に自己評価・学校関係者評価委員会を開催し、外部の識者の意見を参考に次年度に備える機会としました。委員は、次の方々です。順不同。

- ・練馬区立田柄小学校校長 伊藤 雄一
- ・広島大学大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム准教授、本園教育支援委員 奥村 安寿子
- ・立教大学法学部特任教授 薬師丸 正二郎
- ・学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園 おひさまの会会長 林 礼奈

本園からは理事長、園長、事務長が出席し、事務局は教務・学務担当が務めました。

(7) 規程とマニュアル作成

2022年度は主として利用規約を見直し、周知しました。職員のストレス抑止についても明記しました。コロナ5類移行後もマスク着用はさまざま意見があったなか、上述した省庁などの指針や園医、顧問弁護士等の助言を基に本園の指針をまとめました。

安全管理のうえからは、近年、通園バス車内で起きてはならない事故が度重なったことからマニュアルをより一層厳しく見直すとともに、全園児にクラクションを鳴らす訓練やバス火災等を想定した避難訓練を

実施しました。2023年度は通園バス内設置が義務化された「置き去り防止安全装置」を設置し、より安全な環境を設定しました。

園庭遊び中に園児が一人で園外に出ないように監督するのは無論ですが、ご家庭にも安全教育への協力を求めるものです。

地震や火事、不審者等を想定した避難訓練は毎月実施し、9月は保護者の引取訓練を行います。危機管理マニュアルは都度見直し、職員間で情報共有を徹底します。マニュアルは最低限必要な準備と心得、今後とも危機管理意識を強固にしていきたいと思います。

まとめ

園長として2018年に着任して以来、田柄幼稚園憲章の策定や、職員のキャリアとスキルアップほか園庭整備やさまざまな課題に取り組んでまいりました。2022年度に6件の登録商標ⁱⁱⁱを有し、より一層親近感を抱いていただける幼稚園を目指しています。

幼児教育の重要性に鑑み世界に羽ばたく人材育成を視野に入れて、園長が提唱する「全身教育」を推進するものです。未来科学の発展や、多様化する社会に的確に対応するうえで必要な能力の芽を損なうことなくはぐくむことに力を注いでまいります。

なおまた、最新の知見や科学技術のみならず「故きを温めて新しきを知れば」^{xiv}というように、先人の言葉や歴史に学ぶことを重視し、園庭整備とそこでの遊育や体育に注力します。

2024年度もこれまで同様、本園は保護者の皆様と緊密に連携し、園児の安全と健康に配慮して経営してまいります。

末尾ながら、教育と保育にあたる職員は園児を愛して止まない職能集団です。個々人の職能をより発揮することができるよう、保護者およびご利用の皆様のご理解とご協力を重ねてよろしくお願いいたします。

文責 古閑 博美

ⁱ 定義：全身にさまざまな刺激を与えることにより心身の善的発達に寄与する教育（古閑博美 2018）

ⁱⁱ 2021年4月1日策定。5項目から成る。

学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園憲章

Charter of Tagara Yochien

1. 私たちは、学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園（以下、田柄幼稚園という。）を園児たちの健やかな成長を担う教育機関としてふさわしい環境に整えます。
2. 私たちは、田柄幼稚園の教育理念のもと、教育目標の達成を目指し、全身教育を推進するため幼児教育者に必要な研鑽を積みみます。

3. 私たちは、田柄幼稚園への社会的期待に応えるべく不断の努力を怠らず、保護者ならびに地域社会との連携を図り、推進します。

4. 私たちは、田柄幼稚園が定める規則に則り教職員の働く環境を整え、世界を視野に入れた教育と研究に取り組み実践します。

5. 私たちは、田柄幼稚園が世界に繋がっていることを認識し、国際目標のSDGs（持続可能な開発目標）ⁱⁱに賛同し、なかでも「4 質の高い教育をみんなに」に積極的に取り組みます。

ⁱⁱⁱ 2023年4月1日、幼児教育に従事する職員お

-
- よび園児とその家族の幸福を目指し、「社会の宝である子どもの教育と成長課題に真摯に取り組み続ける」と掲げた。
- iv 令和5年(2023年)12月9日、創立64周年を迎える。
- v 4文科初第2507号 令和5年3月17日「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について」
- vi 幼小接続準備講座「しるってたのしい できるってうれしい」(古閑博美命名)の愛称。「しるでき」「しるでき+(プラス)」は田柄幼稚園登録商標。
- vii 遊育(ゆういく)は古閑博美の造語。遊びをとおしてまた遊びのなかで成長するための教授法。日本文化の伝統にもある「遊び心」(音楽や芸術を好むことや、くすぐり、ユーモアおよび滑稽などを解し、親しむ態度)の育成を含む。
- viii 「研究手当」以外の研究費支給制度。10,000円/年。個人および共同研究申請を園長が審査し、採用の可否を決定。
- ix エビデンスとは「背景に行動科学や疫学統計学、脳科学などの科学的根拠があり、再現性が担保できること」。『東洋経済メール』20230408 閲覧

- x ジョゼフ・ラドヤード・キップリング (Joseph Rudyard Kipling, 1865~1936) イギリスの小説家、詩人。『ジャングルブック』ほか。
- xi 職員は、園長が主宰する魅力行動学会研究会に参加(含発表。公開)するほか、練馬区私立幼稚園教育研修会の5領域(古閑は「言葉」担当理事)の研修に、それぞれの関心に従って参加している。ほかにも適宜対面式やオンラインでの研修会に参加している。
- xii 2022年度は大学、養成所等、計5校受け入れた。教員のスキルアップとブラッシュアップの機会としている。その他、中学生の職場訪問や職場体験学習などを受け入れている。
- xiii 学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園の登録商標は、「たがらん」「トコトコたがらん(一段組・二段組)」「しるでき」「しるでき+」「キャラクター(トコトコたがらん)」の計6件。
- xiv 吹野安・石本道明(平成11年)『孔子全書1 論語(1)』「論語卷の一 為政第二 27」159頁